

日本でいちばんシャンソンの似合うまち—宝塚でのパリ祭コンサート  
第12回 **宝塚パリア祭** 2018 宝塚ソリオホール  
7/21 (土) & 22 (日)

日本のシャンソンは、宝塚少女歌劇のレビュー『モン・パリ』から始まったと言われてます。そんな素敵な縁(えにし)から生まれた宝塚パリア祭。今回のテーマは「ジュテームの壁」。この壁はパリ、モンマルトルの丘の中腹の小さな公園にあるモニュメント(フレデリック・バロン制作2000年)で、ブルーの壁面が世界311の異なる言語で書かれた「ジュテーム(愛

している)」の言葉で埋め尽くされています。今回は平成最後の宝塚パリア祭になりそうです。平成は、東西冷戦の終結〜ベルリンの壁の崩壊から始まりました。「人々の心を隔てる壁」でなく、「ひとの心を憩わせ、愛と融和・アートを護り、育む壁」をイメージして、新しい時代へと歌でエールを送るパリア祭を、宝塚よりお届けします。



出演歌手 (50音順)



**市原民子** ● いちはらみこ [21日] 関西学院大学卒業後、約10年の役者活動を経てシャンソンに魅せられる。ペコーオーディションを機に2007年プロデビューし、京阪神を中心としたライブハウスに出演中。「歌手は女優である」を座右の銘に、歌で人生を演じることを模索中である。



**奥田佳子** ● おくだけいこ [21日] 「日々の生活にシャンソンを」と25年前にシャンソン教室をスタート。様々な人達にシャンソンを通しての仲間作り、歌う事の喜びを学んでもらっている。今年はその集大成「レッスン曲ライブー25年の歩み・224曲を歌う」を毎月開催、日々シャンソンと格闘中。



**海江田文** ● かいえだふみ [22日] 歌手、訳詞、作詞。同志社大学美学及芸術学卒。20世紀アートに耽溺する中、ドイツのキャバレーソングやフランスのシャンソンに自らの精神的ルーツを見出し、歌い始めて20数年。M. デートリッヒをはじめ、東欧から南米の音楽まで独特の感性でアプローチ。



**川島弘** ● かわしまひろし [21日] 早大在学中、菅原邦子氏の紹介で芦野宏氏に弟子入り。のち深緑夏代氏にシャンソンを学ぶ。30歳で歌手廃業、帰阪。27年後「さらば銀巴里・なかにし礼訳詞コンサート」で復帰。本年9月、川島弘感謝の日「85歳の現状報告」ソロコンサート開催予定。



**桐さと実** ● きりさとみ [21日] 宝塚歌劇団出身、「ミー & マイガール」「新源氏物語」など、代表作は数多く、二枚目男役として、15年在籍。退団後は、シャンソンライブ、OGコンサートなど、歌を中心に活動。カルチャーで、ボーカル、演劇の講師も務める。



**坂尾彰彦** ● さかおあきひこ [21日] 岡本光平氏に、のち出口美保氏に師事。1984年、ペコーオーディション合格以来、ライブ、コンサート、イベント等で活躍。CD『坂尾彰彦の素顔』『俺はコメディアン』リリース。大阪産経学園、ok生涯学習センター、大阪市クレオ南、各シャンソン教室講師。2011年、吹田市文化功労章受賞。



**シモーヌ深雪** ● しもーぬふゆき [22日] 怪奇と官能と愛の不毛をこよなく愛するシャンソン歌手。また、1980年代より活躍しているドラッグクイーンの一。ロマンティズムとアンチリアリズムの信条に裏打ちされた華麗なステージングアクトは、観る者すべてに某かの強烈な印象を残す。



**須山公美子** ● すやまきみこ [21日・22日] 関西学院大卒。1979年ライブハウスデビュー。シンガーソングライター、シャンソン歌手、訳詞、ソリオシャンソン講座講師、FM宝塚「宝塚とシャンソンの熱〜関係」パーソナリティ。音楽企画集団「宝塚シャンソン化計画」で、宝塚パリア祭等の企画・運営に携わる。



**玉田さかえ** ● たまださかえ [22日] 神戸市出身。20歳の頃出会ったシャンソンに心動かされ音楽活動を始める。1985年シャンソン歌手としてプロデビュー。その後、各地のシャンソニエ出演、コンサート、リサイタル等、幅広く活躍。個性的な情感溢れる歌唱は味わい深く、根強いファンも多い。



**千城恵** ● ちしろけい [21日] 宝塚歌劇雪組男役スターとして活躍し、退団後、東京を中心にミュージカルの舞台に立ち、銀巴里で本格的にシャンソンデビュー。1994年に姫路で音楽スタジオ開校。後進の指導にあたりつつ、「HIMEJIパリア祭」「HIMEJIミュージカル」など、地元の音楽文化活性化に取り組んでいる。



**埴生美伽子** ● はにゅうみかこ [22日] 2016年第32回日本アマチュアシャンソンコンクール全国大会最優秀歌唱賞受賞。歌う女優、もの語る歌いびと。ひとり芝居に歌を織り込んだ『歌ものがたり』シリーズが好評を博す。リサイタル、ソロライブでは独特の劇的な世界を描く。宝塚市在住。



**藤井レイ子** ● ふじいれいこ [22日] 音楽教室講師を経て1985年NHKオーディション、ペコーオーディション合格と同時にシャンソン活動開始。2002年、2007年にアルバムを発表。関西を中心にコンサート、ライブハウスに多数出演。骨髄バンク支援フィレールの会世話人。らいぶはうすサンジャンのプロデューサー。



**星奈佐和子** ● ほしなざわこ [22日] 宝塚歌劇団出身。在団中より深緑夏代氏に師事。退団後はシャンソンのステージ「大阪パリア祭」「サンケイパリア祭」他、多数出演。また、関西のシャンソンライブハウスにレギュラー出演多数。2008年CDアルバム『愛の旅立ち』を発売。新響楽器音楽教室シャンソン講師。



**村山奈緒美** ● むらやまなみ [21日] 風かおる氏に師事。第9回アマチュアシャンソンコンクール優勝。朝日ホール、新神戸オリエンタル劇場にて2度のソロリサイタル。2004年CD『アンシャンテ』リリース。2010年フランコジャポネコンサート in Parisに参加。日仏友好シャンソン KAKEHASHI 運営委員。



**森本理子** ● もりもとりこ [21日] 28歳の折、深夜ラジオから流れた、ダミアの「暗い日曜日」に魅了されシャンソンを志す。音楽沙羅氏に師事。青春時代にカウンターカルチャーの洗礼を浴び、主流派ではない暗く耽美な世界や、怖く美しい世界の構築を目指し、オリジナル訳詞も製作中。



**ヤスコ Wild** ● やすこわいるど [21日] 歌う詩人。関西外国語大学英米語学科卒。NPO 法人関西シャンソン協会理事長、日本訳詩家協会関西支部長。1985年『三文オペラ』のソングを全訳。1989年よりパリのラバノ・アジール・ル・コネクターブル等に出演。コンサート活動の他、作詞、作曲、訳詞、掌編小説など執筆。



**RIO (如月伶生)** ● りお [22日] 東京都在住。1994年プロデビュー。女性誌のグラビア紹介等を契機に2000年より拠点を東京に。NHK・TVライブ放映等幅広い活動を全国的に展開中。P. カースやパリの有名歌手との共演も多数。昨秋、パリでの「バルバラ没後記念コンサート」でも好評を博す。



**立ともみ** ● りつともみ [22日] 2007年宝塚歌劇団退団後、多数の舞台に出演。2011年奥の細道が題材の音楽劇『風雅の旅』で主演の芭蕉役を好演。2012年初ライブ。『エリザベート』ガラコンサートでマックス公爵を演じる。宝塚歌劇団で演技指導、宝塚音楽学校でポピュラー講師等、後輩の指導にあたる。

第5回宝塚歌謡選手権 受賞者 記念出演

第5回宝塚歌謡選手権シャンソン部門最優秀賞受賞者に記念出演して頂きます。熱唱に応援よろしくお祈りします。



**名島将浩** ● なじまさひろ [22日] 鳥取県出身、42歳でゴスペルを始める。44歳で若林ケン氏に邂逅、衝撃を受けシャンソンを始める。第1回宝塚歌謡選手権一般部門 優秀賞、第3回宝塚歌謡選手権シャンソン部門 宝塚シャンソン化計画賞受賞。第5回宝塚歌謡選手権シャンソン部門 最優秀賞受賞。

音楽監督・ピアノ演奏



**吉田幸生** ● よしだゆきお ● 主にシャンソン歌手の伴奏ピアニストとして活動。キャリアは30年を超えた。提供した作曲や訳詞も数多い。ソロピアノCDを2枚発表。「吉田幸生のページ」のシャンソン索引が好評。ブログは「吉田幸生のスケジュール帳」。2014年からシャンソンクリニックを始める。

SORIO HALL お席のご案内 (全席指定)

